学部・研究科名	人間社会科学研究科 人文社会科学専攻
認定を受けてい る教職課程	中学校教諭専修免許状(国語・社会・英語・ドイツ語・フランス語) 高等学校教諭専修免許状(国語・地理歴史・公民・英語・ドイツ語・フランス語)

評価基準・・・	5:十分に適合する 4:適合する	- -				
	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要)				
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか				教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定めにより公表する情報)(1 教員の養成の目標及び当
教育理念・学修目 標	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の見直しの状 況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学びの成果(以下「学修成果」という。)や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	該目標を達成するための計画に関すること(施行規則第22条の6第1号)」の公表状況 ●現在の公表情報(大学全体の教員の養成の目標・計画)に加えて、広大教員養成スタンダードを公表 ●各学部・研究科の「教員養成の目標及び当該目標
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定プロセ ス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令 指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性 の考慮が行われているか				を達成するための計画」を作成・公表 (課程認定申請書類または実地視察調書を基に作成)
	複数の教職課程を通じた授業科目 の共通開設など全学的な教育課程 の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設 に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行 われているか		該当研究科・プロ グラム 教育本部教務委員 会	5	変更届
	教職課程の授業科目の実施に必要 な施設・設備の整備状況	I C T (情報通信技術)環境(オンライン授業含む)、 模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業 科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準4-1 (分析項目4-1-1)
	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか	各学部・学科	各研究科・プログラム		年次報告書・基準6-1 (分析項目6-1-1、6-1-2)
	I C T の活用指導力など、各科目 を横断する重要な事項についての 教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用 指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に 図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっ ているか			5	
	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
授業科目・教育課 程の編成実施	個々の授業科目の到達目標の設定状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための 計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの 対応が図られているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	シラバス
	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と 授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と 方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容 等が明確に記載されているか				
	アクティブ・ラーニングや I C T の活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-2(分析項目6-2-1)
	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
	教職実践演習及び教育実習等の実 施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか				
	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか				
	成績評価に関する全学的な基準の 策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められて いる到達目標の達成水準との関係等が明らかにされてい るか				
	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	年次報告書・基準6-4 (分析項目6-4-1、6-4-2、6-4-3)
学修成果の把握・ 可視化	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は 定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反 映することができているか、公正で透明な成績評価とい う観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があ らかじめ明確になっているか				
	教員の養成の目標の達成状況(学 修成果)を明らかにするための情 報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報 が適切に設定されており、それがどの程度達成されてい るか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活 用できているか	各学部·学科 教育本部教務委員 会			

教職課程の自己点検・評価ガイドライン(概要)						
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス
	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決定)で定められた必要専任教員数を充足しているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	変更届(適切に届出ができているか)
	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校 現場等での実務経験の状況				
	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要 な職員数を配置できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員会	4	教育本部教務委員会実施状況
教職員組織	FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか		教育本部教務委員 会	4	教育学部FD「公開授業・研究会」実施状況
	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会で活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	授業改善アンケート実施状況
	学校教育法施行規則(昭和22年 文部省令第11号)第172条の 2のうち関連部分、教育職員免許 法施行規則第22条の6に定めら れた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適 切に行えているか				広島大学公式ウェブサイト公表状況 (教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定 めにより公表する情報))
情報公表	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できている かどうかを、エビデンスとともに説明できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員会	5	
	教職課程の自己点検・評価に関す る情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自 己点検・評価の評価書を公表することができているか				
	教職課程を履修する学生の確保に 向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準5-1 (分析項目5-1-1、5-1-2)
教職指導(学生の 受け入れ・学生支援)	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか	教育本部教務委員	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	4	年次報告書・基準6-3 (分析項目6-3-1、6-3-2) 教員免許ポートフォリオ 教職事前ガイダンス
	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	教職ガイダンス実施状況 学校教員の公開求人件数・求人数 学生に対する進路指導実施状況 (相談対応等)
	教育委員会や各学校法人との連 携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			
関係機関等との連携	教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実 習の適切な実施につなげることができているか、学校体 験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験 活動を行う機会を積極的に提供できているか	教育学部 医学部・歯学部			
	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために 学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストス ピーカー等として活用することができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			
<u>○ 独特的に報係す</u>	 ることができる点や特筆すべき事項	 	<u>I</u>	/	/	

O###!-=##	7 - 1 - 12 - 4 - 7 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4	
し積極的に評価す	ることができる点や特筆すべき事項	しかめれはこ配入くたさい。

〇改善を要する点があればご記入ください。

○前年度「改善を要する点」として記載した事項について、改善した点があればご記入ください。 なし

なし

学部・研究科名	人間社会科学研究科 教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム
認定を受けてい る教職課程	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英 語) 高等学校教諭専修免許状(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・書道・保健体 育・家庭・情報・工業・英語) 特別支援学校教諭専修免許状

| 評価基準・・・5: 十分に適合する 4:適合する 3: やや適合する 2:余り適合しない 1:適合しない

評価基準・・・	5:十分に適合する 4:適合する 3					
	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要)				
大項目	中項目	観点	実施組織 (学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか				教員の養成の状況 (教育職員免許法施行規則の定めに より公表する情報) 「1 教員の養成の目標及び当該
教育理念・学修目標	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の見直しの状 況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの 学びの成果(以下「学修成果」という。)や自己点検・ 評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適 切な見直しが行われているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	目標を達成するための計画に関すること(施行規則第22条の6第1号)」の公表状況 ●現在の公表情報(大学全体の教員の養成の目標・計画)に加えて、広大教員養成スタンダードを公表 ●各学部・研究科の「教員養成の目標及び当該目標を
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定プロセ ス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令 指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性 の考慮が行われているか				達成するための計画」を作成・公表(課程認定申請書 類または実地視察調書を基に作成)
	複数の教職課程を通じた授業科目 の共通開設など全学的な教育課程 の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設 に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行 われているか	該当学部·学科 教育本部教務委員 会	該当研究科・プログラム 教育本部教務委員 会	5	令和6年度教職課程認定の変更届(教育課程等の変 更)
	教職課程の授業科目の実施に必要 な施設・設備の整備状況	ICT(情報通信技術)環境(オンライン授業含む)、模擬授業用の教室、関連 する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準4-1(分析項目4-1-1)
	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム		
	I C T の活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての 教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用 指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に 図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっ ているか			5	年次報告書・基準6-1 (分析項目6-1-1、6-1-2)
	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
授業科目・教育課 程の編成実施	個々の授業科目の到達目標の設定状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための 計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの 対応が図られているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	シラバス
	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と 授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と 方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容 等が明確に記載されているか				
	アクティブ・ラーニングや I C T の活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-2(分析項目6-2-1)
	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
	教職実践演習及び教育実習等の実 施状況		教育学部 医学部・歯学部 教育本部教務委員 会			
	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか				
	成績評価に関する全学的な基準の 策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められて いる到達目標の達成水準との関係等が明らかにされてい るか				
	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-4 (分析項目6-4-1、6-4-2、6-4-3)
学修成果の把握・可視化	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は 定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反 映することができているか、公正で透明な成績評価とい う観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があ らかじめ明確になっているか				
	教員の養成の目標の達成状況(学 修成果)を明らかにするための情 報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報 が適切に設定されており、それがどの程度達成されてい るか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活 用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			

教職課程の自己点検・評価ガイドライン(概要)						
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス
	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決定)で定められた必要専任教員数を充足しているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員	5	令和6年度教職課程認定の変更届(教職専任教員の変 更等)
	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校 現場等での実務経験の状況		会		
	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要 な職員数を配置できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員会	4	教育本部教務委員会実施状況
教職員組織	FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか	教育本部教務委員 会	教育本部教務委員 会	4	教育学部FD「公開授業・研究会」実施状況
	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会で活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	授業改善アンケート実施状況
	学校教育法施行規則(昭和22年 文部省令第11号)第172条の 2のうち関連部分、教育職員免許 法施行規則第22条の6に定めら れた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適 切に行えているか		教育本部教務委員会	^{委員} 5	広島大学公式ウェブサイト公表状況 (教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定め により公表する情報))
情報公表	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できている かどうかを、エビデンスとともに説明できているか	教育本部教務委員 会			
	教職課程の自己点検・評価に関す る情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自 己点検・評価の評価書を公表することができているか				
	教職課程を履修する学生の確保に 向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができている か、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れ ているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準5-1 (分析項目5-1-1、5-1-2)
教職指導(学生の 受け入れ・学生支 援)	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか	合子 即 子科	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	年次報告書・基準6-3(分析項目6-3-1、6-3-2)
	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	教職ガイダンス実施状況 学校教員の公開求人件数・求人数 学生に対する進路指導実施状況 (相談対応等)
	教育委員会や各学校法人との連 携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			
関係機関等との連携	教育実習等を実施する学校との連 携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実 習の適切な実施につなげることができているか、学校体 験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験 活動を行う機会を積極的に提供できているか	教育学部 医学部・歯学部			
	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために 学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストス ピーカー等として活用することができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			
	<u>I</u>	1	İ	/	V	

○積極的に評価することができる点や特筆すべき事項があればご記入ください。

・教育学部が独自に設置している「就職情報資料室」に教員採用試験担当の客員教員を配置しており、教職を目指す学生の個別相談に応じるとともに、教員作用試験の指導を行っている。また、最新の教員採用に係る情報を各 地の教育委員会に赴いて収集し、学生に教職に関する情報を提供している。 ・実践的指導力と教育的創造力を高め、指導的立場の教育者としての資質を育成することを目的に、教育現場での実践な探究を想定した授業科目の導入を検討している。

〇改善を要する点があればご記入ください	١,
なし	

〇前年度	「改善を要する点」	として記載した事項について、	改善した点があればご記入ください。
なし			

学部・研究科名	人間社会科学研究科 教育科学専攻 教育学プログラム
認定を受けてい る教職課程	中学校教諭専修免許状(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語) 語) 高等学校教諭専修免許状(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・書道・保健体育・家庭・情報・工業・英語)

評価基準・・・5	: 十分に適合する 4: 適合する 3					
	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要)				
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか				教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定めにより公表する情報) 「1 教員の養成の目標及び当該
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の見直しの状 況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学びの成果(以下「学修成果」という。)や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	日標を達成するための計画に関すること (施行規則第 22条の6第1号) 」の公表状況 ●現在の公表情報 (大学全体の教員の養成の目標・計 画) に加えて、広大教員養成スタンダードを公表 ●各学部・研究科の「教員養成の目標及び当該目標を 達成するための計画」を作成・公表 (課程認定申請書
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定ブロセ ス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令 指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性 の考慮が行われているか				類または実地視察調書を基に作成)
	複数の教職課程を通じた授業科目 の共通開設など全学的な教育課程 の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設 に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行 われているか	該当学部・学科 教育本部教務委員 会	該当研究科・プロ グラム 教育本部教務委員 会	4	令和6年度教職課程認定の変更届(教育課程等の変 更)
	教職課程の授業科目の実施に必要 な施設・設備の整備状況	I C T (情報通信技術)環境(オンライン授業含む)、 模擬授業用の教室、関連 する図書など、教職課程の授業 科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	年次報告書・基準4-1(分析項目4-1-1)
	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか	- 各学部・学科 -	各研究科・プログ ラム		年次報告書・基準6-1(分析項目6-1-1, 6-2-1)
	I C T の活用指導力など、各科目 を横断する重要な事項についての 教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用 指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に 図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっ ているか			5	
i	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
	個々の授業科目の到達目標の設定 状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための 計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの 対応が図られているか	各学部・学科 一教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	シラバス
	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と 授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と 方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容 等が明確に記載されているか				
	アクティブ・ラーニングやICT の活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングや I C T を活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	各学部・学科	各研究科・プログラム	5	年次報告書・基準6-2 (分析項目6-2-1)
	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
	施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか	教育学部 医学部・歯学部 教育本部教務委員 会			
	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか				
	成績評価に関する全学的な基準の 策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされているか				
	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-4 (分析項目6-4-1、6-4-2、6-4- 3)
学修成果の把握・可視化	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は 定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反 映することができているか、公正で透明な成績評価とい う観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があ らかじめ明確になっているか				
	教員の養成の目標の達成状況(学 修成果)を明らかにするための情 報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報 が適切に設定されており、それがどの程度達成されてい るか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活 用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			

	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要)					
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス	
	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決定)で定められた必要専任教員数を充足しているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員	5	令和6年度教職課程認定の変更届(教職専任教員の変 更等)	
	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校 現場等での実務経験の状況	五	会			
	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要 な職員数を配置できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員会	4	教育本部教務委員会・教員養成WG実施状況	
教職員組織	FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはらめ教職程を担う教員として望ましい資・能力を身に付けさせるためのFDグが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員 会	4	教育学部FD「公開授業・研究会」実施状況	
	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会で活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	授業改善アンケート実施状況	
	学校教育法施行規則(昭和22年 文部省令第11号)第172条の 2のうち関連部分、教育職員免許 法施行規則第22条の6に定めら れた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適 切に行えているか					
情報公表	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できている かどうかを、エビデンスとともに説明できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員会	5	広島大学公式ウェブサイト公表状況 (教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定めにより公表する情報))	
	教職課程の自己点検・評価に関す る情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自 己点検・評価の評価書を公表することができているか					
	教職課程を履修する学生の確保に 向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準5-1 (分析項目5-1-1、5-1-2)	
教職指導(学生の 受け入れ・学生支援)	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか	合字部·子科	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	年次報告書・基準6-3(分析項目6-3-1、6-3-2)	
	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	教職ガイダンス実施状況 学校教員の公開求人件数・求人数 学生に対する進路指導実施状況(相談対応等)	
	教育委員会や各学校法人との連 携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				
関係機関等との連携	教育実習等を実施する学校との連 携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実 習の適切な実施につなげることができているか、学校体 験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験 活動を行う機会を積極的に提供できているか	教育学部 医学部・歯学部				
	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために 学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストス ピーカー等として活用することができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				

○積極的に評価することができる点や特筆すべき事項があればご記入ください。 ・教育学部が独自に設置している「就職情報資料室」に教員採用試験担当の客員教員を配置しており、教職を目指す学生の個別相談に応じるとともに、教員作用試験の指導を行っている。また、最新の教員採用に係る情報を各地の教育委員会に赴いて収集し、学生に教職に関する情報を提供している。

)	改善	を!	更す	-る	点が	あれ	ばこ	記	入	<	だ	ż	い

学部・研究科名 人間社会科学研究科 教育科学専攻 日本語教育学プログラム

認定を受けてい る教職課程 高等学校教諭専修免許状(国語)

評価基準・・・5: 十分に適合する 4: 適合する 3: やや適合する 2: 余り適合しない 1: 適合しない

評価基準・・・5		: やや適合する 2: 余り適合しない 1: 適合しない 評価ガイドライン (概要)				
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか 一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学		各研究科・プログ		教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定めに より公表する情報) 「1 教員の養成の目標及び当該 目標を達成するための計画に関すること(施行規則第 22条の6第1号)」の公表状況
教育理念・学修目 標	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況	びの成果(以下「学修成果」という。)や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	ラム 教育本部教務委員 会	5	●現在の公表情報(大学全体の教員の養成の目標・計画)に加えて、広大教員養成スタンダードを公表 ●各学部・研究科の「教員養成スタンダードを公表 ・ は実施するための計画」を作成・公表(課程認定申請書類または実地視察調書を基に作成)
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定プロセ ス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令指 定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性の考 慮が行われているか	考			双 6 7 1 16 大心 以示副首 C 参 1 1 下 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
	複数の教職課程を通じた授業科目 の共通開設など全学的な教育課程 の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に 責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われ ているか		該当研究科・プログラム 教育本部教務委員 会	5	令和6年度教職課程認定の変更届(教育課程等の変 更)
	教職課程の授業科目の実施に必要 な施設・設備の整備状況	ICT (情報通信技術)環境 (オンライン授業含む)、模 擬授業用の教室、関連 する図書など、教職課程の授業科 目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	年次報告書・基準4-1(分析項目4-1-1)
	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための 計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が 図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に 確保されているか	代 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-1 (分析項目6-1-1、6-1-2)
	ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっているか				
	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
授業科目・教育課 程の編成実施	個々の授業科目の到達目標の設定 状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	シラバス
	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等が明確に記載されているか				
	アクティブ・ラーニングや I C T の活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-2 (分析項目6-2-1)
	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
	教職実践演習及び教育実習等の実 施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、 教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を 含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか	教育学部 医学部·歯学部 教育本部教務委員 会			
	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか				
	成績評価に関する全学的な基準の 策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされているか				
	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している 場合に成績評価の平準化を図ることができているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-4(分析項目6-4-1、6-4-2、6-4- 3)
学修成果の把握・ 可視化	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができているか、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか				
	教員の養成の目標の達成状況(学 修成果)を明らかにするための情 報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が 適切に設定されており、それがどの程度達成されている か、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活用で きているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			

	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要)					
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エピデンス	
	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決定) で定められた必要専任教員数を充足しているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員	5	令和6年度教職課程認定の変更届(教職専任教員の変 更等)	
	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校現 場等での実務経験の状況	4	会			
	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な 職員数を配置できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員会	4	教育本部教務委員会・教員養成WG実施状況	
教職員組織	F D・S D の実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員 も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための 計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい 資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実 施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に 参加が確保できているか		教育本部教務委員会	4	教育学部FD「公開授業・研究会」実施状況	
	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会で活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	授業改善アンケート実施状況	
	学校教育法施行規則(昭和22年 文部省令第11号)第172条の 2のうち関連部分、教育職員免許 法施行規則第22条の6に定めら れた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切 に行えているか				広島大学公式ウェブサイト公表状況 (教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定め により公表する情報))	
情報公表	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているか どうかを、エビデンスとともに説明できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員会	5		
	教職課程の自己点検・評価に関す る情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己 点検・評価の評価書を公表することができているか					
	教職課程を履修する学生の確保に 向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができている か、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れて いるか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準5-1 (分析項目5-1-1、5-1-2)	
教職指導(学生の 受け入れ・学生支 援)	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	年次報告書・基準6-3(分析項目6-3-1、6-3-2)	
	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、 学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築され ているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	教職ガイダンス実施状況 学校教員の公開求人件数・求人数 学生に対する進路指導実施状況(相談対応等)	
	教育委員会や各学校法人との連 携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・ 交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教 育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることがで きているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				
関係機関等との連携	教育実習等を実施する学校との連 携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習 の適切な実施につなげることができているか、学校体験活 動や学習指導員としての活動など学校現場での体験活動を 行う機会を積極的に提供できているか					
	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学 外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピー カー等として活用することができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				
	<u> </u>			/	/		

○積極的に評価することができる点や特筆すべき事項があればご記入ください。

・教育学部が独自に設置している「就職情報資料室」に教員採用試験担当の客員教員を配置しており、教職を目指す学生の個別相談に応じるとともに、教員作用試験の指導を行っている。また、最新の教員採用に係る情報を各地 の教育委員会に赴いて収集し、学生に教職に関する情報を提供している。

〇改善を要する点があればご記入くだる	きい
--------------------	----

なし

学部・研究科名	人間社会科学研究科 教職開発専攻 教職開発プログラム
	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・保健・技術・寿 庭・英語) 高等学校教諭専修免許状(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・書道・保健体 育・保健・家庭・情報・農業・工業・商業・英語)

評価基準・・・	5:十分に適合する 4:適合する 3						
	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要)					
大項目	中項目	観点	実施組織 (学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス	
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか				教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定めにより公表する情報)「1 教員の養成の目標及び当該	
教育理念・学修目標	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の見直しの状 況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの 学びの成果(以下「学修成果」という。) や自己点検・ 評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適 切な見直しが行われているか	谷字部・字科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	目標を達成するための計画に関すること (施行規則第22条の6第1号)」の公表状況 ●現在の公表情報 (大学全体の教員の養成の目標・計画)に加えて、広大教員養成スタンダードを公表 ●各学部・研究科の「教員養成の目標及び当該目標を	
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定プロセス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令 指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性 の考慮が行われているか				達成するための計画」を作成・公表 (課程認定申請書類または実地視察調書を基に作成)	
	複数の教職課程を通じた授業科目 の共通開設など全学的な教育課程 の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設 に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行 われているか	該当学部·学科 教育本部教務委員 会	該当研究科・プロ グラム 教育本部教務委員 会	5	令和6年度教職課程認定の変更届(教育課程等の変 更)	
	教職課程の授業科目の実施に必要 な施設・設備の整備状況	ICT (情報通信技術)環境 (オンライン授業含む)、模擬授業用の教室、関連 する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準4-1(分析項目4-1-1)	
	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか					
	I C T の活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての 教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用 指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に 図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっ ているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-1(分析項目6-1-1、6-1-2)	
	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか					
授業科目・教育課 程の編成実施	個々の授業科目の到達目標の設定 状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための 計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの 対応が図られているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	_		
	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と 授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と 方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容 等が明確に記載されているか	教育本部教務委員会		5	シラバス	
	アクティブ・ラーニングやICT の活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-2 (分析項目6-2-1)	
	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図 られ、適切な見直しが行われているか					
	教職実践演習及び教育実習等の実 施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか	教育学部 医学部·歯学部 教育本部教務委員 会				
	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか					
	成績評価に関する全学的な基準の 策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められて いる到達目標の達成水準との関係等が明らかにされてい るか					
	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-4 (分析項目6-4-1、6-4-2、6-4-3)	
学修成果の把握・可視化	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は 定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反 映することができているか、公正で透明な成績評価とい う観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があ らかじめ明確になっているか					
	教員の養成の目標の達成状況(学 修成果)を明らかにするための情 報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報 が適切に設定されており、それがどの程度達成されてい るか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活 用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				

教職課程の自己点検・評価ガイドライン(概要)							
大項目	中項目	観点	実施組織 (学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス	
	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決定)で定められた必要専任教員数を充足しているか	各学部・学科 教育本部教務委員	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員	5	令和6年度教職課程認定の変更届(教職専任教員の変 更等)	
	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校 現場等での実務経験の状況	会	会		X47	
	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要 な職員数を配置できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員会	4	教育本部教務委員会・教員養成WG実施状況	
教職員組織	FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員 会	4	教育学部FD「公開授業・研究会」実施状況	
	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会で活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	授業改善アンケート実施状況	
	学校教育法施行規則(昭和22年 文部省令第11号)第172条の 2のうち関連部分、教育職員免許 法施行規則第22条の6に定めら れた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適 切に行えているか					
情報公表	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できている かどうかを、エビデンスとともに説明できているか	教育本部教務委員会	教育本部教務委員会	5	広島大学公式ウェブサイト公表状況 (教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定め により公表する情報))	
	教職課程の自己点検・評価に関す る情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができているか					
	教職課程を履修する学生の確保に 向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができている か、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れ ているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準5-1 (分析項目5-1-1、5-1-2)	
教職指導(学生の 受け入れ・学生支援)		必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	年次報告書・基準6-3(分析項目6-3-1、6-3-2)	
	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	教職ガイダンス実施状況 学校教員の公開求人件数・求人数 学生に対する進路指導実施状況 (相談対応等)	
	教育委員会や各学校法人との連 携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				
関係機関等との連携	教育実習等を実施する学校との連 携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実 習の適切な実施につなげることができているか、学校体 験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験 活動を行う機会を積極的に提供できているか	教育学部 医学部・歯学部				
	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために 学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストス ピーカー等として活用することができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				

○積極的に評価することができる点や特筆すべき事項があればご記入ください。

・教育学部が独自に設置している「就職情報資料室」に教員採用試験担当の客員教員を配置しており、教職を目指す学生の個別相談に応じるとともに、教員作用試験の指導を行っている。また、最新の教員採用に係る情報を各 地の教育委員会に赴いて収集し、学生に教職に関する情報を提供している。

O改善を要する点があれ	ばご記入ください
-------------	----------

なし

学部・研究科名 先進理工系科学研究科 認定を受けてい 中学校教諭専修免許状(数学・理科) 高等学校教諭専修免許状(数学・理科・情報・工業)

評価基準・・・		3: やや適合する 2: 余り適合しない 1: 適合しない				
	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要) 	•			
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか		各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会		教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定め により公表する情報) 「1 教員の養成の目標及び当
教育理念・学修目 標	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の見直しの状 況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの 学びの成果(以下「学修成果」という。)や自己点検・ 評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適 切な見直しが行われているか	日本子の・子科 教育本部教務委員 会		5	該目標を達成するための計画に関すること(施行規則第22条の6第1号)」の公表状況 ●現在の公表情報(大学全体の教員の養成の目標・計画)に加えて、広大教員養成スタンダードを公表 ●各学部・研究科の「教員養成の目標及び当該目標
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定プロセ ス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令 指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性 の考慮が行われているか				を達成するための計画」を作成・公表 (課程認定申請書類または実地視察調書を基に作成)
	複数の教職課程を通じた授業科目 の共通開設など全学的な教育課程 の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設 に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行 われているか		該当研究科・プログラム 教育本部教務委員 会	5	変更届
	教職課程の授業科目の実施に必要 な施設・設備の整備状況	ICT (情報通信技術)環境 (オンライン授業含む)、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準4-1 (分析項目4-1-1)
	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか	- 各学部・学科			
	ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての 教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用 指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に 図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっ ているか		各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-1 (分析項目6-1-1、6-1-2)
	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
授業科目・教育課 程の編成実施	個々の授業科目の到達目標の設定 状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための 計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの 対応が図られているか	A 24 to 24 to	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会		シラバス 年次報告書・基準6-2 (分析項目6-2-1)
	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と 授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と 方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容 等が明確に記載されているか	教育本部教務委員会		5	
	アクティブ・ラーニングや I C T の活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	
	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか				
	教職実践演習及び教育実習等の実 施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか				
	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか				
	成績評価に関する全学的な基準の 策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められて いる到達目標の達成水準との関係等が明らかにされてい るか				
	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-4 (分析項目6-4-1、6-4-2、6-4-3)
学修成果の把握・ 可視化	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は 定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反 映することができているか、公正で透明な成績評価とい う観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があ らかじめ明確になっているか				
	教員の養成の目標の達成状況(学 修成果)を明らかにするための情 報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報 が適切に設定されており、それがどの程度達成されてい るか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活 用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			

	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要)				
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス
	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決 定)で定められた必要専任教員数を充足しているか	各学部・学科 教育本部教務委員	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員	5	変更届(適切に届出ができているか)
	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校 現場等での実務経験の状況	会	会		
	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要 な職員数を配置できているか	教育本部教務委員 会	教育本部教務委員 会	4	教育本部教務委員会実施状況
教職員組織	FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成さっための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか		教育本部教務委員会	4	教育学部FD「公開授業・研究会」実施状況
	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会で活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	授業改善アンケート実施状況
	学校教育法施行規則(昭和22年 文部省令第11号)第172条の 2のうち関連部分、教育職員免許 法施行規則第22条の6に定めら れた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適 切に行えているか				
情報公表	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できている かどうかを、エビデンスとともに説明できているか	_	教育本部教務委員会	5	広島大学公式ウェブサイト公表状況 (教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定めにより公表する情報))
	教職課程の自己点検・評価に関す る情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自 己点検・評価の評価書を公表することができているか				
	教職課程を履修する学生の確保に 向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準5-1 (分析項目5-1-1、5-1-2) 学生便覧 (4. 教育職員免許状の取得方法 P14~P20)
教職指導(学生の 受け入れ・学生支 援)	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか		各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	年次報告書・基準6-3 (分析項目6-3-1、6-3-2) 教員免許ポートフォリオ 教職事前ガイダンス
	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準4-2 (分析項目4-2-1) 学校教員の公開求人件数・求人数 学生に対する進路指導実施状況(相談対応等) 学生便覧(4.教育職員免許状の取得方法 P14~P20)
	教育委員会や各学校法人との連 携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			
関係機関等との連 携	教育実習等を実施する学校との連 携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実 習の適切な実施につなげることができているか、学校体 験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験 活動を行う機会を積極的に提供できているか				
	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために 学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストス ピーカー等として活用することができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			
	 ることができる占や結簣すべき車10	I	1	<i>y</i>	<u> </u>	

○積極的に評価することができる	点や特筆すべき事項があればご記入ください
なし	

○お美た両する	占があれげごね 7	しください

○前年度「改善を要する点」として記載した事項について、改善した点があればご記入ください。
なし

なし

学部・研究科名 統合生命科学研究科 認定を受けてい 中学校教諭専修免許状(数学・理科) 高等学校教諭専修免許状(数学・理科・工業)

評価基準・・・	5:十分に適合する 4:適合する	3:やや適合する 2:余り適合しない 1:適合しない					
	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要)					
大項目	中項目	観点	実施組織 (学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エピデンス	
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか		各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	4	教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定め により公表する情報)「1 教員の養成の目標及び当	
教育理念・学修目 標	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の見直しの状 況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの 学びの成果(以下「学修成果」という。)や自己点検・ 評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適 切な見直しが行われているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			該目標を達成するための計画に関すること (施行規則第22条の6第1号)」の公表状況 ●現在の公表情報 (大学全体の教員の養成の目標・計画)に加えて、広大教員養成スタンダードを公表 ●各学部・研究科の「教員養成の目標及び当該目標	
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定プロセ ス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令 指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性 の考慮が行われているか				を達成するための計画」を作成・公表 (課程認定申請書類または実地視察調書を基に作成)	
	複数の教職課程を通じた授業科目 の共通開設など全学的な教育課程 の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設 に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行 われているか	改 当 于 即 ² 于 行	該当研究科・プロ グラム 教育本部教務委員 会			
	教職課程の授業科目の実施に必要 な施設・設備の整備状況	ICT (情報通信技術)環境(オンライン授業含む)、 模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業 科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	年次報告書・基準4-1 (分析項目4-1-1)	
	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか					
	ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用 指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に 図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっ ているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-1(分析項目6-1-1、6-1-2)	
	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか					
授業科目・教育課 程の編成実施	個々の授業科目の到達目標の設定 状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための 計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの 対応が図られているか	各学部・学科	各研究科・プログ	_		
	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と 授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と 方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容 等が明確に記載されているか	教育本部教務委員会	ラム 教育本部教務委員 会	5	シラバス	
	アクティブ・ラーニングや I C T の活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングや1 C T を活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	年次報告書・基準6-2(分析項目6-2-1)	
	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか					
	教職実践演習及び教育実習等の実 施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか					
	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか					
	成績評価に関する全学的な基準の 策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められて いる到達目標の達成水準との関係等が明らかにされてい るか					
	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	年次報告書・基準6-4 (分析項目6-4-1、6-4-2、6-4-3)	
学修成果の把握・可視化	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は 定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反 映することができているか、公正で透明な成績評価とい う観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があ らかじめ明確になっているか					
	教員の養成の目標の達成状況 (学 修成果) を明らかにするための情 報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報 が適切に設定されており、それがどの程度達成されてい るか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活 用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				

教職課程の自己点検・評価ガイドライン(概要)							
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス	
	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決 定)で定められた必要専任教員数を充足しているか	各学部・学科 教育本部教務委員	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員	4	変更届(適切に届出ができているか)	
	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校 現場等での実務経験の状況	会	会			
	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要 な職員数を配置できているか	教育本部教務委員 会	教育本部教務委員 会	4	教育本部教務委員会実施状況	
教職員組織	FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成さっための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか		教育本部教務委員 会	4	教育学部FD「公開授業・研究会」実施状況	
	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会で活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	授業改善アンケート実施状況	
	学校教育法施行規則(昭和22年 文部省令第11号)第172条の 2のうち関連部分、教育職員免許 法施行規則第22条の6に定めら れた情報公表の状況	172条の 法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適 はにになっているか		教育本部教務委員会	5	広島大学公式ウェブサイト公表状況 (教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定 めにより公表する情報))	
情報公表	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できている かどうかを、エビデンスとともに説明できているか	教育本部教務委員会				
	教職課程の自己点検・評価に関す る情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができているか					
	教職課程を履修する学生の確保に 向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	年次報告書・基準5-1 (分析項目5-1-1、5-1-2)	
教職指導(学生の 受け入れ・学生支 援)	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	4	年次報告書・基準6-3 (分析項目6-3-1、6-3-2) 教員免許ポートフォリオ 教職事前ガイダンス	
	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	教職ガイダンス実施状況 学校教員の公開求人件数・求人数 学生に対する進路指導実施状況(相談対応等)	
関係機関等との連携	教育委員会や各学校法人との連 携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				
	教育実習等を実施する学校との連 携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実 習の適切な実施につなげることができているか、学校体 験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験 活動を行う機会を積極的に提供できているか					
	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために 学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストス ピーカー等として活用することができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				
	 ることができる占や結簣すべき車10	1	<u>l</u>	/	/		

〇積極的に評価すること	: ができる点や特筆すべき	事項があればご記入ください。
なし		

〇改善を要する点があればご記入く	ください。

学部・研究科名 医系科学研究科 認定を受けてい る教職課程 養護教諭専修免許状

山岡を十 0	1:十分に過言する 4:過言する	3:やや適合する 2:余り適合しない 1:適合しない	T				
	教職課程の自己点検・	評価ガイドライン(概要)					
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス	
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか		各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定め により公表する情報)「1 教員の養成の目標及び当	
教育埋念・子修日	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の見直しの状 況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学びの成果(以下「学修成果」という。)や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会			該目標を達成するための計画に関すること (施行規則第22条の6第1号)」の公表状況 ●現在の公表情報 (大学全体の教員の養成の目標・計画)に加えて、広大教員養成スタンダードを公表 ●各学部・研究科の「教員養成の目標及び当該目標	
	教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画の策定プロセ ス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令 指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性 の考慮が行われているか				を達成するための計画」を作成・公表 (課程認定申請書類または実地視察調書を基に作成)	
	複数の教職課程を通じた授業科目 の共通開設など全学的な教育課程 の編成状況		*L * + *n *L ** * P	該当研究科・プロ グラム 教育本部教務委員 会			
	教職課程の授業科目の実施に必要 な施設・設備の整備状況	ICT (情報通信技術)環境 (オンライン授業含む)、 模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業 科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	年次報告書・基準4-1(分析項目4-1-1)	
	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか					
	ICTの活用指導力など、各科目 を横断する重要な事項についての 教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用 指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に 図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっ ているか		各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準6-1(分析項目6-1-1、6-1-2)	
	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか					
	個々の授業科目の到達目標の設定 状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための 計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの 対応が図られているか	各学部・学科	各研究科・プログ			
	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と 授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と 方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容 等が明確に記載されているか	教育本部教務委員 会	ラム 教育本部教務委員 会	4	シラバス	
	アクティブ・ラーニングやICT の活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	^{究科・プログ} 5	年次報告書・基準6-2(分析項目6-2-1)	
	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか					
	教職実践演習及び教育実習等の実 施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか	教育学部 医学部・歯学部 教育本部教務委員 会				
	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか					
	成績評価に関する全学的な基準の 策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められて いる到達目標の達成水準との関係等が明らかにされてい るか					
	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	年次報告書・基準6-4 (分析項目6-4-1、6-4-2、6-4-3)	
学修成果の把握・ 可視化	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は 定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反 映することができているか、公正で透明な成績評価とい う観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があ らかじめ明確になっているか					
	教員の養成の目標の達成状況(学 修成果)を明らかにするための情 報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報 が適切に設定されており、それがどの程度達成されてい るか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活 用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				

教職課程の自己点検・評価ガイドライン(概要)							
大項目	中項目	観点	実施組織(学部)	実施組織 (大学院)	自己評価	エビデンス	
	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決 定)で定められた必要専任教員数を充足しているか	各学部・学科 教育本部教務委員	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員	5	変更届(適切に届出ができているか)	
	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校 現場等での実務経験の状況	会	会			
	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要 な職員数を配置できているか	教育本部教務委員 会	教育本部教務委員 会	4	教育本部教務委員会実施状況	
教職員組織	FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか		教育本部教務委員会	4	教育学部FD「公開授業・研究会」実施状況	
	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会で活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	4	授業改善アンケート実施状況	
	学校教育法施行規則(昭和22年 文部省令第11号)第172条の 2のうち関連部分、教育職員免許 法施行規則第22条の6に定めら れた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適 切に行えているか		教育本部教務委員会	5	広島大学公式ウェブサイト公表状況 (教員の養成の状況(教育職員免許法施行規則の定めにより公表する情報))	
情報公表	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できている かどうかを、エビデンスとともに説明できているか	教育本部教務委員 会				
	教職課程の自己点検・評価に関す る情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自 己点検・評価の評価書を公表することができているか					
	教職課程を履修する学生の確保に 向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	年次報告書・基準5-1 (分析項目5-1-1、5-1-2)	
教職指導(学生の 受け入れ・学生支援)	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会	各研究科・プログ ラム 教育本部教務委員 会	5	年次報告書・基準6-3 (分析項目6-3-1、6-3-2) 教員免許ポートフォリオ 教職事前ガイダンス	
	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	各学部・学科	各研究科・プログ ラム	5	教職ガイダンス実施状況 学校教員の公開求人件数・求人数 学生に対する進路指導実施状況(相談対応等)	
関係機関等との連携	教育委員会や各学校法人との連 携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				
	教育実習等を実施する学校との連 携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実 習の適切な実施につなげることができているか、学校体 験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験 活動を行う機会を積極的に提供できているか					
	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために 学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストス ピーカー等として活用することができているか	各学部・学科 教育本部教務委員 会				
	 スことができる占や特等すべき車10	I	<u> </u>	<i>y</i>	/		

〇積極的に評価すること	: ができる点や特筆すべき	事項があればご記入ください。
なし		

〇改善を要する点があればご記入ください。